

那賀川河川事務所 主な事業2014

安全で安心できる那賀川の未来を築く

長安口ダム改造事業

那賀川流域の洪水被害を軽減するとともに、流水の正常な機能の維持を図るため、長安口ダム改造事業に平成19年度より着手しました。貯水池容量の振り替えによる洪水調節容量及び不特定容量の増量を行うとともに、洪水調節能力向上のための放流設備の増設等を実施します。平成26年度は、ダム本体工事に着手するとともに、本体準備工事、工事用道路の施工、堆砂除去工事等を引き続き実施していきます。



浸水被害常襲地区における
治水安全度の向上

無堤地区の解消

近年、浸水被害が頻発している那賀川無堤地区のうち、深瀬地区の築堤事業を引き続き推進するとともに、加茂地区の用地調査を実施します。また、事業推進にあたっては、地域と一体となった「那賀川防災プロジェクト」をすすめ被害の軽減を目指します。

東日本大震災を教訓とした、必要性が高く、即効性のある防災、減災等のための施策

南海トラフ巨大地震等対策

東日本大震災では、多くの堤防が液状化により沈下しました。その後、来襲した巨大津波により堤防は破壊され、多くの生命・財産が失われる甚大な被害となりました。これらの教訓を踏まえ、今後発生すると想定されている東南海・南海地震等へ備えるため、那賀川、派川那賀川、桑野川の河口部において、堤防の嵩上げ、耐震・液状化対策及び水樋門の遠隔操作化・自動化を実施しており、水樋門の遠隔操作化・自動化については平成24年度に完了しました。平成26年度においても、引き続き、堤防の嵩上げ、耐震・液状化対策を実施していきます。

平成26年度 那賀川河川事務所事業概要

(単位:百万円)

	事業費 ^{※1}				事業内容
	平成25年度			平成26年度	
	当初	補正等	合計	当初	
河川改修(通常)	420.0	200.0	620.0	420.0	深瀬地区築堤工事を実施、加茂地区用地調査を実施します。
河川改修(全国防災) ^{※2}	5,800.6	0	5,800.6	3,530.0	津波対策として那賀川、派川那賀川、桑野川の河口より堤防の嵩上げ、耐震・液状化対策を実施します。
河川維持修繕(通常) ^{※3}	4,345.0	1,036.5	5,381.5	※4,414.0	那賀川、派川那賀川、桑野川の堤防除草や河川巡視、河川管理施設(水樋門・排水機場)操作・点検等を実施します。また、那賀川、派川那賀川、桑野川の河川管理施設(護岸や根固め等)の修繕を行います。
河川総合開発事業	4,336.3	0	4,336.3	3,602.8	長安口ダム改造事業の本体準備工事(仮締切の製作)、工事用道路の施工及び堆砂除去工事等の推進を図ります。
総合流域防災対策事業	9.5	0	9.5	11.0	那賀川流砂系における総合的な土砂管理の検討及び流砂量観測機器等の保守点検を実施します。
その他	47.4	37.0	84.4	1.7	災害対策用機械(排水ポンプ車1台)更新及び災害対策用機械の点検整備を実施します。

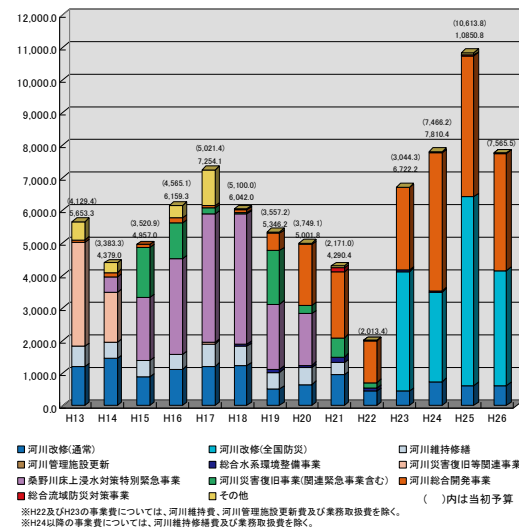
※1 H25事業費については、全て業務取扱費除きとする。

※2 全国防災とは、東日本大震災を教訓として、全国的に緊急に実施する必要性が高く、即効性のある防災、減災等のための施策を実施するための事業費である。

※3 四国の直轄河川全体の金額である。

※4 H26事業費は工事諸費を除いた事業費を記載。

事業予算の推移



※H22及びH23の事業費については、河川維持費、河川管理施設更新費及び業務取扱費を除く。
※H24以降の事業費については、河川維持修繕費及び業務取扱費を除く。



液状化対策の実施状況写真